

豊田市公共交通会議（愛知県豊田市）



1市4町2村の合併により成立した広大な中核市において、鉄道・基幹バス、そして住民が運営に参画した「地域バス」による多核ネットワークの構築、多様な利用促進策及び生産性・持続可能性の向上策を展開し、地域交通を活性化。

（取組の概要）

1. 多様な主体の実質的参画

- 鉄道・基幹バス・地域バスを組み合わせ、広大な市域を効率的にカバー
- 「鉄道」は、「愛知環状鉄道の複線化」などを実施し、通勤需要に対応、車通勤の減少
- 「バス」は、中核的拠点を結ぶ「基幹バス」とエリアを担う「地域バス」に分類
- 「基幹バス」は市と事業者とが緊密に連携し、計画に基づいた運行・改善を実施（改善例：コミュニティバスでの交通系共通ICカードの導入 等）
- 「地域バス」は、地域住民、商工会、病院、学校などが参加する「運営協議会」の議論に基づき運行、改善を実施。

2. 創意工夫

(1) 企業と連携した通勤輸送の公共交通利用（鉄道）への転換

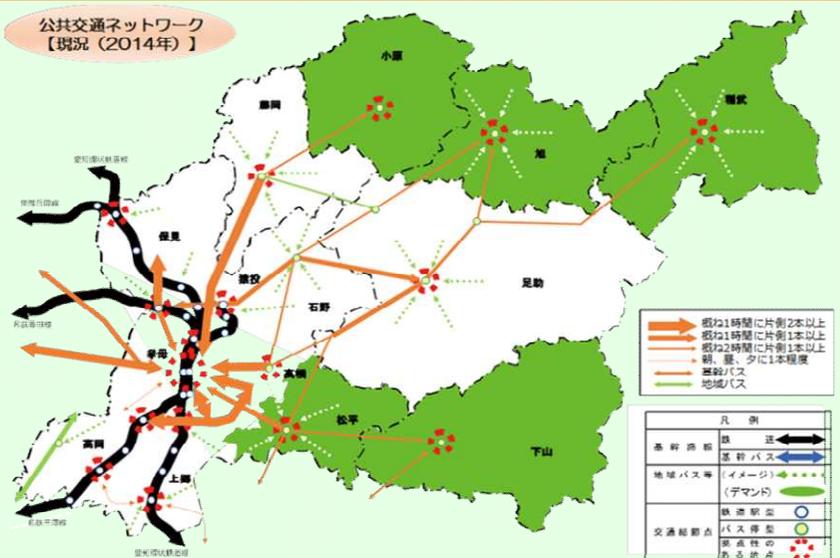
- 渋滞対策等の観点から、地元大手企業と連携した公共交通利用促進を実施
- 愛知環状鉄道の複線化、パークアンドバスライド駐車場の整備などの施策を展開

(2) バス利用促進策の展開

- 鉄道・事業者バス・コミュニティバスを一元的に集約した移動支援サイト・アプリ、「みちなびとよた」を整備し、利便性を向上
- 事業者委託ではないコミュニティバス（基幹バス）では全国でも例の少ない交通系共通ICカードの導入
- 商工会との連携によるバス利用時の買い物で運賃をキャッシュバック

3. 自立性・継続性

- 収支率等の定量的な指標と運営協議会の取組を評価する独自のバス評価システムを導入し、「基幹バス」「地域バス」のサービス水準の見直しに活用・運営協議会の活動を活性化。
- コミュニティバスでは全国初の宅配物の貨客混載を実施。生産性向上による自立的経営を目指す。



「鉄道」「基幹バス」「地域バス」で広大な市域をカバー



地域バスだより



地域バス運営協議会にて検討



移動支援ポータルサイト



貨客混載の実施

宇治市地域公共交通会議、明星町自治会、西小倉自治連合会（京都府宇治市）



住民、交通事業者、行政の三者協定による「宇治市のりあい交通事業」により、民間バス撤退後の交通空白地域における地域の足を確保。住民が主体となった利用促進策や維持資金の募集、行政からの自律的支援などにより、利用者増加や収支改善による事業継続を実現。

（取組の概要）

1. 多様な主体の実質的参画

(1) 行政・事業者・住民の三者協働

- 「宇治市のりあい交通事業」に基づき、行政・事業者・住民それぞれの役割分担を明確にした協定を締結。
- 市が実施する住民説明会や事業者ヒアリング等により、普段から意識や情報を三者で共有。

2. 創意工夫

(1) 補助金スキームの工夫

- 「のりあい交通事業」によるバス等の運行に、住民負担を導入しながら、収支率が高いほど住民負担が減る仕組みとし、住民の積極的な利用を促進。

(2) 利用促進

- 観光客の利用も目指し、沿線観光地（三室戸寺）へのアクセス手段としてのバス利用をPR。
- 子どもたちの絵をバス車内に展示する「ギャラリーバス」や、地元スーパーストとの協働によるスタンプラリーを実施。
- 西小倉のりあいタクシーはサポート会員制を導入。年会費を支払えば、1乗車の運賃が安くなるなど継続的な利用を促す。

3. 自立性・継続性

- 西小倉のりあい交通事業では、地元ラジオを利用した呼びかけ、広報にて「乗って残そう！」の呼びかけを行い、サポート会員の加入を促す。

サポート会員数の推移 運行開始日 (H29.10.10) 282世帯 → (H30.3.5) 311世帯 <10%増加>



宇治市のりあい交通事業の「しおり」

三室戸寺へは
明星ラインボウバスが便利ですよ☆

料金は 210円

門前のバス停で下車

三室戸寺から門前までバスで約5分*

門前のバス停から三室戸寺まで徒歩 約5分*

観光利用PRチラシ

西小倉のりあいタクシー便り

乗って残そう！

10～12月の乗客状況をお知らせします。

【10月】	【10～12月】	【目標値】
1日平均乗車人数	1日平均乗車人数	1日平均乗車人数
17.4人	15.4人	60人

サポート会員申込書

西小倉のりあいタクシー便り 観光利用PRチラシ

宇治市明星町のバス

運行継続に向け 若い世代に利用PR

「明星ラインボウバス」の車内に飾る絵と書いた子どもたち(宇治市・明星町連合会)

ギャラリーバス 新聞記事



明星ラインボウバス 運賃収入推移

淡路市地域公共交通会議（兵庫県淡路市）



既存の路線バス路線の一部廃止を機に、地域公共交通ネットワーク全体を再編し、廃止前の補助金同等額で、既存路線の維持や、高速バス、高速船等との乗継利便向上、観光客の足の確保等を実現。廃止前と比べ、利用者の70%増加等を達成。

（取組の概要）

1. 多様な主体の実質的参画

- (1) 関係者との協働
 - 北部生活観光バスは、沿線上の住民や町内会、船舶事業者等様々な関係者と連携して、運行ルートやダイヤ等を調整。
- (2) 島全体の交通網を総合調整
 - 島内の淡路市、洲本市とも意見交換を行い、島全体のバス路線網や乗り継ぎポイント等を調整。市域を越えた地域公共交通ネットワークを構築。



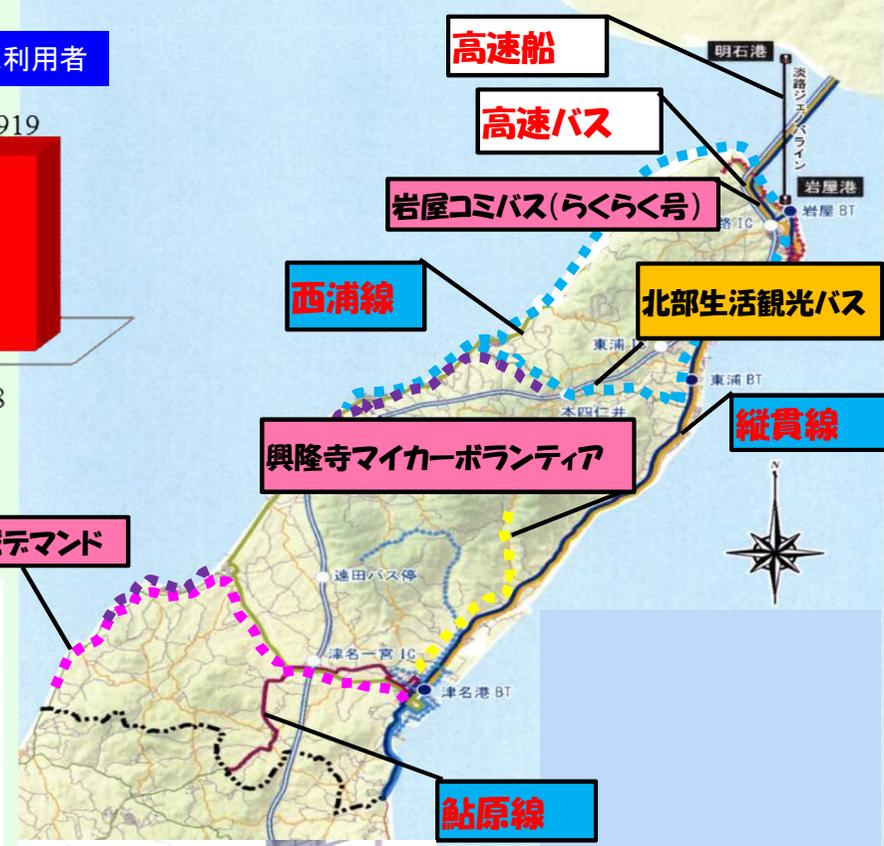
2. 創意工夫

- (1) 循環バス(北部生活観光バス)の運行による様々なアクセスの強化
 - 高速バス停留所、高速船ターミナルへの接続及び乗継時間短縮により、本州や四国へのアクセスが向上。その結果市内高校への島外からの通学者が増加。
- (2) 観光路線を組み込み新たなニーズを開拓
 - 観光シーズンに合わせて観光用の路線を設定。日常的な利用だけでは無く、観光の需要も取り込んでいる。

3. 自立性・継続性

- (1) 北部生活観光バス利用者の増加
 - 平成26年度の運行開始年度は年間約3.4万人だった利用者が平成28年度には、約5.8万人に増加。
- (2) 継続に向けての取り組み
 - 北部生活観光バスの運賃は安易に廉価にすることなく、利用者にも応分の負担(500円/回)を求めることにより、安定的な収入を確保。
 - 各所のボランティア輸送(自家用有償)は積極的な利用を呼びかけ末端の交通も盛り上げている。

らくらく号の利用呼びかけチラシ



北部生活観光バスで通学する学生



高速船とも連携

特定非営利活動法人にこここ日土、愛媛県八幡浜市(愛媛県八幡浜市)



過疎・高齢化が進む中山間地域において、地域住民が立ち上がり、行政との協働により「我がまちの移動手段」をトータルで確保(定時定路線・デマンド・スクール輸送)。運行開始当初と比較し約2.2倍のバス利用者数増を実現し、黒字運営を約10年間継続する等、持続可能な移動手段の仕組みを構築。

(取組の概要)

1. 多様な主体の実質的参画

- (1) 地域住民の熱意と行動
 - 民間路線バス廃止・縮小の危機を受け、**地域住民が立ち上がり**NPOを設立、自ら地域の移動手段を確保
 - 地区住民の会費拠出**による事業運営
- (2) 市による本取組への全面支援
 - 交通担当部署のみならず、学校教育・福祉等各部署が連携、**クロスセクター効果**による便益向上を目指し、NPOの活動を全面的にバックアップ



NPO法人にこここ日土 バス出発式 (H20 市広報誌)



日土地区の概要(みかん栽培がさかんな標高20m~600mの中山間地域)

2. 創意工夫

- 『**自分たちのまちは自分たちで**』
- 地域と行政が協働し、高齢者の移動に加え、児童・生徒の通学を含めた**地域の移動手段をトータルで確保**(地区と市街地を結ぶ定時定路線・域内デマンド・小中学校スクール輸送)
- 自ら運転手を確保、無償貸与された旧駐在所(遊休施設)を事務所として有効活用
- 地域ニーズに基づく運行、高齢者の外出機会創出(お遍路巡りツアーなど)、チラシでの会員拡大の取組



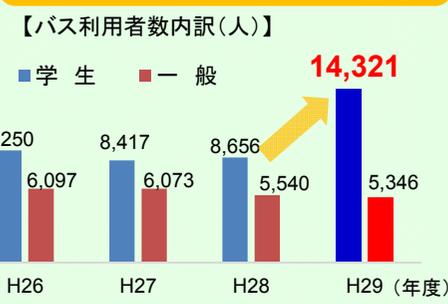
3. 自立性・継続性

- 事業開始以降、**市・県・国からの運営費補助(欠損補助)が一切なく**、約10年間黒字運営を継続、バス利用者数も約2.2倍増
- 地域住民の満足度が高く、費用対効果の高い活動を継続して取組中

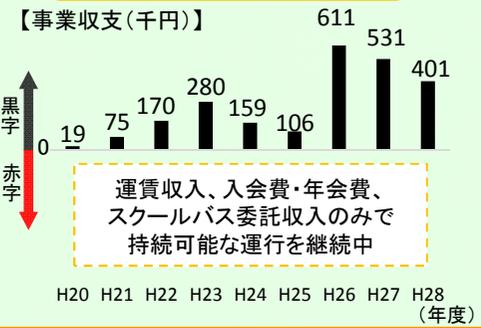
H29年度利用者数はH21年度比約**2.2倍増!**



中学校統廃合により、H29年度の児童・生徒利用者数は対前年比約**1.7倍増!**



開始以降約**10年間黒字運営!**



大分市地域公共交通協議会（大分県大分市）

- ・地域住民の中でも「真の利用者」自らが「地域検討会」において運行計画を策定・見直し。
- ・昨年度より、市内の全ての交通不便地域において導入可能にし、路線バスとのネットワークを構築。
- ・開始時より、運行ルートが大きく増加し、地域住民の「おでかけ」の手段として定着。



（取組の概要）

○高齢化が進展し、交通不便地域が多数点在する大分市において、平成16年から登録制・予約制の乗合タクシーを運行開始。平成24年から「ふれあい交通」として本格化。

1. 「真の利用者」、行政、事業者の参画・連携

○各ルートにおいて、地域住民が主体となり、大分市と運行計画の策定・見直しを行う「地域検討会」を開催。地域住民の中の「真の利用者」のニーズを受け止め、運行の改善につなげていく仕組みを構築。

○大分市は地域検討会・説明会を精力的に運営。利用者からの意見は大分市地域公共交通協議会において議論し、実運行に反映。その他、ふれあい交通と接続するバス停の上屋・ベンチの整備を重点的に実施。

○地域のタクシー事業者全体で運行を担う体制を構築。

ある事業者が運行不能となった場合でも、タクシー協会が調整し、他の事業者が運行を継続。運行事業者がそれぞれ利用予約を受け、予約人数に応じたサイズの乗用タクシーを配車。

2. 市内全ての交通不便地域を持続的に解消できる仕組みを創意工夫

○昨年度より、市内全ての交通不便地域において、住民の意志で乗合タクシーの提案を可能に。
→市内の全ての交通不便地域を解消できる仕組みを実現。路線バスとのネットワークを構築。

○ふれあい交通から降車の際、利用者は名前を記載した「利用券」をドライバーに手渡し。
→全ての利用状況を把握可能。特に頻度の高い利用者には地域検討会に重点的に参画を要請。「利用券」を通じて、「真の利用者」を把握。

○各ルートごとに利用登録者数に応じた便数の上限（1週6～20便）を設定。
→地域検討会では、限られた便数の中、使い勝手や路線バスの接続時間を考慮した、住民が真に必要な運行計画が作り上げられることになり、財政面での持続可能性も担保。

3. 自立的・継続的な運行を実現

○平成16年に4ルートから開始した取組みが現在は23ルートに横展開。利用者増加の系統もみられる。

○大分市が行う高齢者向け路線バス100円均一施策（高齢者ワンコインバス事業）をふれあい交通にも適用。路線バスのネットワークとも連携し、地域住民の「おでかけ」を誘発。

地域住民主体の地域検討会



「テーマ・ヒマ・オジャマ」の精神

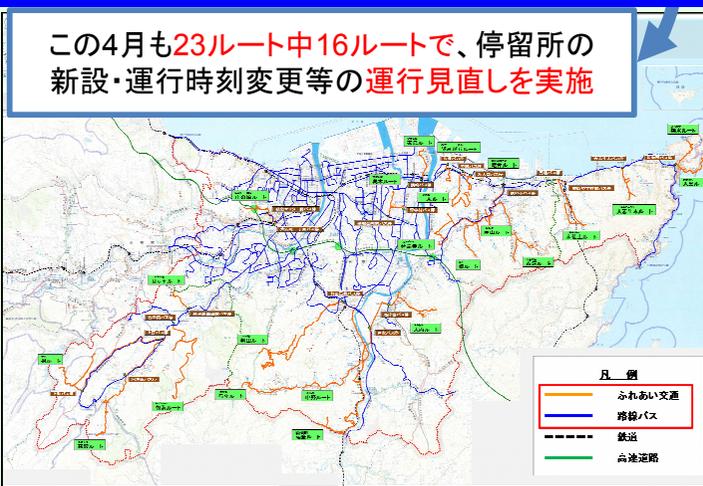
- ・運行形態：路線不定期（予約制）
- ・週当たり便数：6～20便
- ・運賃：200円
（小学生以下とワンコインバスの対象高齢者は100円）

H29年度開催の検討会・説明会一覧

開催日	開催地	開催内容	参加人数
11/24	大分市	地域検討会	12
11/24	大分市	説明会	15
11/24	大分市	説明会	18
11/24	大分市	説明会	21
11/24	大分市	説明会	24
11/24	大分市	説明会	27
11/24	大分市	説明会	30
11/24	大分市	説明会	33
11/24	大分市	説明会	36
11/24	大分市	説明会	39
11/24	大分市	説明会	42
11/24	大分市	説明会	45
11/24	大分市	説明会	48
11/24	大分市	説明会	51
11/24	大分市	説明会	54
11/24	大分市	説明会	57
11/24	大分市	説明会	60
11/24	大分市	説明会	63
11/24	大分市	説明会	66
11/24	大分市	説明会	69
11/24	大分市	説明会	72
11/24	大分市	説明会	75
11/24	大分市	説明会	78
11/24	大分市	説明会	81
11/24	大分市	説明会	84
11/24	大分市	説明会	87
11/24	大分市	説明会	90
11/24	大分市	説明会	93
11/24	大分市	説明会	96
11/24	大分市	説明会	99
11/24	大分市	説明会	102
11/24	大分市	説明会	105
11/24	大分市	説明会	108
11/24	大分市	説明会	111
11/24	大分市	説明会	114
11/24	大分市	説明会	117
11/24	大分市	説明会	120
11/24	大分市	説明会	123
11/24	大分市	説明会	126
11/24	大分市	説明会	129
11/24	大分市	説明会	132
11/24	大分市	説明会	135
11/24	大分市	説明会	138
11/24	大分市	説明会	141
11/24	大分市	説明会	144
11/24	大分市	説明会	147
11/24	大分市	説明会	150
11/24	大分市	説明会	153
11/24	大分市	説明会	156
11/24	大分市	説明会	159
11/24	大分市	説明会	162
11/24	大分市	説明会	165
11/24	大分市	説明会	168
11/24	大分市	説明会	171
11/24	大分市	説明会	174
11/24	大分市	説明会	177
11/24	大分市	説明会	180
11/24	大分市	説明会	183
11/24	大分市	説明会	186
11/24	大分市	説明会	189
11/24	大分市	説明会	192
11/24	大分市	説明会	195
11/24	大分市	説明会	198
11/24	大分市	説明会	201
11/24	大分市	説明会	204
11/24	大分市	説明会	207
11/24	大分市	説明会	210
11/24	大分市	説明会	213
11/24	大分市	説明会	216
11/24	大分市	説明会	219
11/24	大分市	説明会	222
11/24	大分市	説明会	225
11/24	大分市	説明会	228
11/24	大分市	説明会	231
11/24	大分市	説明会	234
11/24	大分市	説明会	237
11/24	大分市	説明会	240
11/24	大分市	説明会	243
11/24	大分市	説明会	246
11/24	大分市	説明会	249
11/24	大分市	説明会	252
11/24	大分市	説明会	255
11/24	大分市	説明会	258
11/24	大分市	説明会	261
11/24	大分市	説明会	264
11/24	大分市	説明会	267
11/24	大分市	説明会	270
11/24	大分市	説明会	273
11/24	大分市	説明会	276
11/24	大分市	説明会	279
11/24	大分市	説明会	282
11/24	大分市	説明会	285
11/24	大分市	説明会	288
11/24	大分市	説明会	291
11/24	大分市	説明会	294
11/24	大分市	説明会	297
11/24	大分市	説明会	300

のべ85回開催、
地域からは合計1,711人が参加

大分市内を結ぶ路線バス・ふれあい交通ネットワーク



この4月も23ルート中16ルートで、停留所の新設・運行時刻変更等の運行見直しを実施



「おでかけ」を誘発

「ふれあい交通」運行事業利用券（ワンコイン）

利用年月日	平成 年 月 日
利用者氏名	
利用区間	①弓立公民館⇄②戸次バス停
利用者確認 (署名又は記名押印)	
有効期限	平成31年3月31日

記名式の利用券